

北地区散策路整備



フェンス・雨水排水溝設置



正殿建設工事



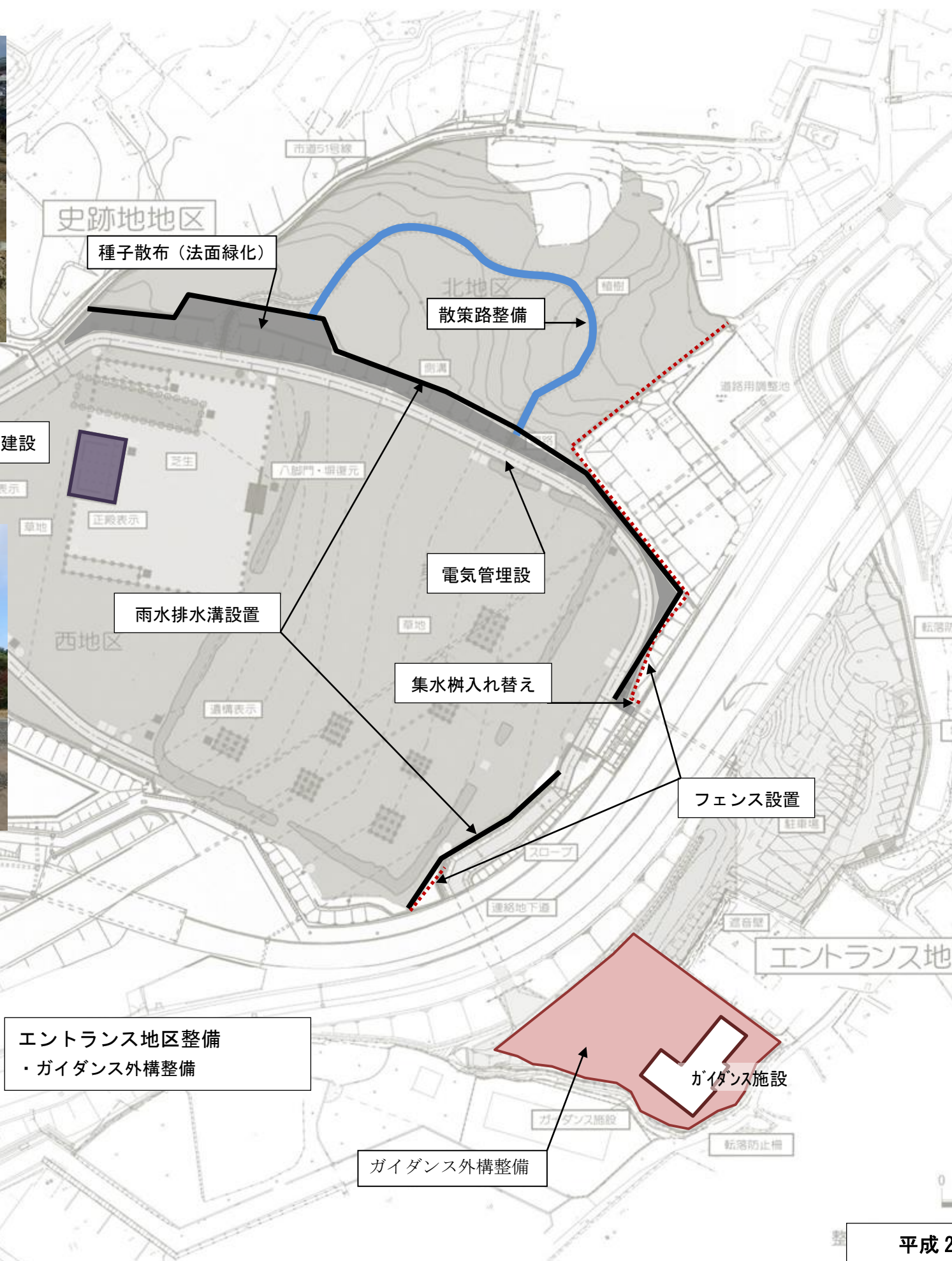
雨水排水溝設置



パーゴラ設置工事



ガイダンス外構工事



- 史跡地地区整備**
- ・正殿立体表示建設
 - ・電気管理設
 - ・集水柵入れ替え
 - ・雨水排水溝設置
 - ・フェンス設置
 - ・北地区散策路整備
 - ・種子散布 (法面緑化)

- エントランス地区整備**
- ・ガイダンス外構整備

ガイダンス外構整備

「国指定史跡齋宮跡」及び「国指定史跡久留倍官衙遺跡」に関する事業連携協定

(1) 調印式

日時：平成 28 年 11 月 25 日（金）

午後 4 時から

場所：三重県庁 3 階プレゼンテーションルーム

調印者：鈴木英敬 三重県知事

中井幸充 明和町長

田中俊行 四日市市長



(2) 平成 28 年度事業について

お互いの史跡周知のため、明和町及び四日市市でそれぞれパネル展示を行っています。

四日市市 四日市市立博物館 平成 28 年 12 月 6 日～平成 29 年 1 月 29 日

明和町 さいくう平安の杜 平成 28 年 12 月 16 日～平成 29 年 1 月 29 日



四日市市立博物館（1階ロビー）での展示の様子

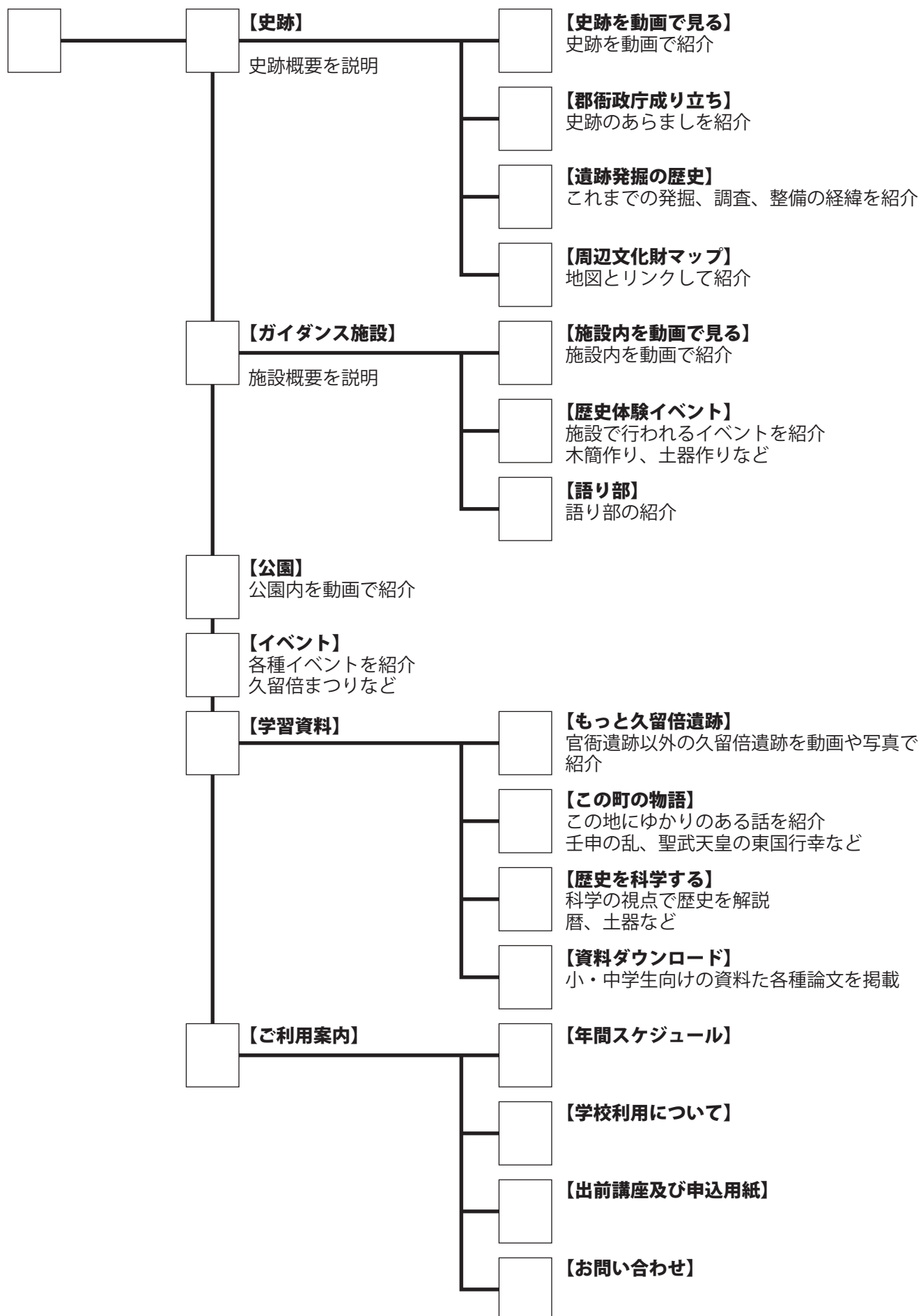
(3) 平成 29 年度以降の事業について

相互のまつり等のイベントで、それぞれの史跡を紹介する場を設けるなど、両方の史跡が持っている古代ロマンの魅力を広く PR していきます。

将来的には、合同のイベントや行事も検討していきたいと考えております。

久留倍官衙遺跡オープン後サイトマップ

【トップ】



【史跡】

史跡概要を説明

【史跡を動画で見る】

史跡を動画で紹介

【郡衙政庁成り立ち】

史跡のあらましを紹介

【遺跡発掘の歴史】

これまでの発掘、調査、整備の経緯を紹介

【周辺文化財マップ】

地図とリンクして紹介

【ガイダンス施設】

施設概要を説明

【施設内を動画で見る】

施設内を動画で紹介

【歴史体験イベント】

施設で行われるイベントを紹介
木簡作り、土器作りなど

【語り部】

語り部の紹介

【公園】

公園内を動画で紹介

【イベント】

各種イベントを紹介
久留倍まつりなど

【学習資料】

【もっと久留倍遺跡】

官衙遺跡以外の久留倍遺跡を動画や写真で紹介

【この町の物語】

この地にゆかりのある話を紹介
壬申の乱、聖武天皇の東国行幸など

【歴史を科学する】

科学の視点で歴史を解説
暦、土器など

【資料ダウンロード】

小・中学生向けの資料や各種論文を掲載

【ご利用案内】

【年間スケジュール】

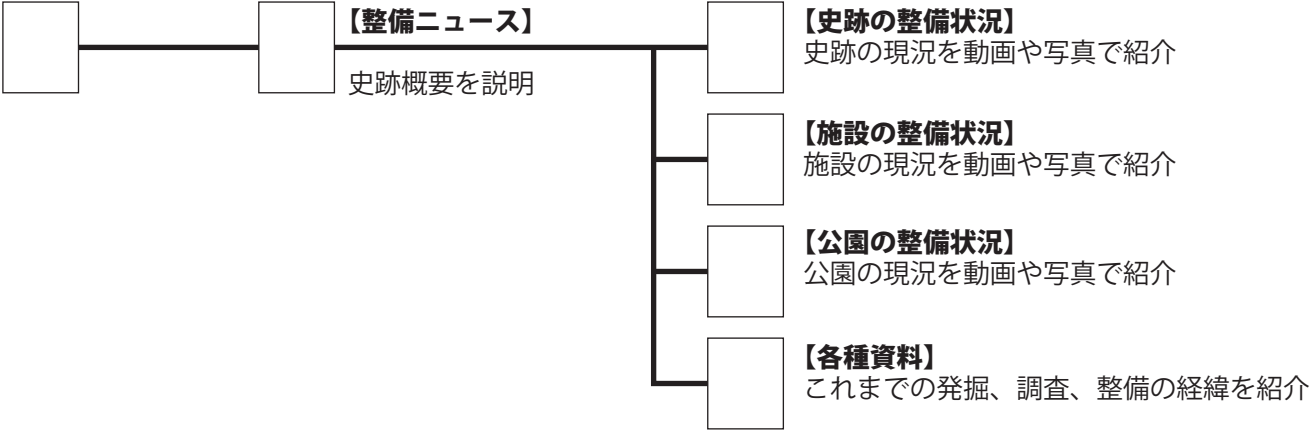
【学校利用について】

【出前講座及び申込用紙】

【お問い合わせ】

久留倍官衙遺跡オープン前サイトマップ

【トップ】



※オープン前サイトで掲載しておきたい項目（ページ）がありましたらご指摘ください。

小中学校での利活用について

<これまでの経緯>

- 平成 26 年度 第 1 回編集委員会（6/6）学校における久留倍官衙遺跡の
利活用について
- 第 2 回編集委員会（10/9）小学校社会科における活用案検討
- 平成 27 年度 第 3 回編集委員会（7/31）小中学校の活用計画について
- 第 4 回編集委員会（1/12）授業での活用について
実践授業 大矢知興譲小学校（5/28、29）
朝明中学校（7/8、7/14、9/14、9/28）
- 平成 28 年度 市内小・中学校への学習プログラム説明会（8/4）
- 第 5 回編集委員会（6/30）活用計画案の検討
- 第 6 回編集委員会（1/17）活用計画案の最終確認

<今後の予定>

- 平成 29 年度 活用計画書及び学習資料の掲示板への公開
市内各学校での実践
活用計画書の印刷
- 平成 30 年度 活用計画書を配布、ホームページ公開
市内各学校での実践と現地見学（予定）



委員会の様子



実践授業の板書

久留倍官衙遺跡案内

2017.01.24

▶ タイトル

「朝明と壬申の乱」

▶ 制作時間＝約 5分00秒

〔凡例〕

- 撮影 動画
- ▲ イメージ撮影
- 既存の画像
- スーパー、図面

N＝男・女性ナレーション

S #1 壬申の乱前夜

約1分30秒

○黒い画面にスーパー

久留倍官衙遺跡

●久留倍官衙遺跡

遺跡から海が見える風景

ドローン映像とCG

N1

(男性ナレーション)
くるべかんがいせき
久留倍官衙遺跡。

N2

平成十一年に見つかったこの遺跡は、
日本古代史を大きく変えた壬申の乱
の舞台の一つでした。

○古代文様にスーパー

天皇系統図

N3

おおあまのおみ
六百七十一年、大海人皇子は、病いの
てんじてんのう
兄、天智天皇が位を譲ろうというのを

▲天智と大海人 イメージ映像

断り、出家して吉野の宮に入ります。

■現在の吉野宮 宮滝遺跡

石碑、ドローン

身の危険を感じたからでした。

■吉野の宮模型

■日本書紀

N4

「虎に翼を付けて放ったようなものだ」
と言って恐れる人もありました。

○スーパー

或曰 虎着翼放
虎に翼を付けて放てり

▲天智崩御 イメージ映像

おおとものみこ
天智が亡くなると、その息子、大友皇
てんじ

■現在の吉野宮 宮滝遺跡

■吉野の宮模型

子側が兵を集めているとの知らせが吉
野にもたらされ、ここに古代最大の内

■現在の吉野宮 宮滝遺跡

乱、壬申の乱が起りました。

S #2 吉野脱出

約3分30秒／5分00秒

▲ 鷗野讚良皇女 シルエット

○ スーパー 大海人と鷗野の系図

■ 日本書紀巻 (何黙亡身耶)

何ぞ黙して身を亡さんや

■ 吉野の宮模型

■ 現在の吉野宮 宮滝遺跡

▲ 野道を足早に歩く武人の足元

■ 美濃 小倉山から遠望

■ 現在の不破関辺り

○ スーパー行軍図

▲ 激しい雨が叩きつける

N6

(女性ナレーション 鷗野讚良皇女)

「何もせずに死を待つわけにはゆかぬ」
夫の言葉です。

6月24日。幼い皇子たちや女性を含め

みこ

ても僅か30人ばかりの慌ただしい出発
でした。

(男性ナレーション)

N7

大友は圧倒的な戦力を持っていました。

そのために、大海人は、まず領地のあ
る美濃に使いを送り、戦いの要所であ
ふわのみち
る不破道の封鎖を命じています。

N8

そして、伊賀・伊勢を経て、兵を募りな
がら美濃を目指しました。

N9

昼、夜と無く進んでいくなか、二日目
の夜、激しい雨が襲いました。

<p>▲朝日</p> <p>○スーパー</p> <p>■日本書紀写本</p> <p>於朝明郡迹太川邊望拜天照大神</p> <p>▲海蔵川の流れ</p> <p>●伊勢神宮</p> <p>▲鷗野讚良皇女 シルエット</p> <p>▲赤い軍旗</p> <p>■不破関跡および周辺</p> <p>○スーパー行軍図</p> <p>●久留倍官衙遺跡</p> <p>トローン映像とCG</p> <p>●発掘の様子</p>		
<p>N 13</p>	<p>N 12</p>	<p>N 11</p>
<p>ここ、久留倍は、大海人が辿った道の近くで発見されました。朝明評家との関係が指摘されています。</p> <p><small>あさけのこおりのみやけ</small></p>	<p>(男性ナレーション)</p> <p>朝明評家に入った大海人は、息子の高市皇子を総大将として不破に遣わしています。</p> <p><small>あさけのこおりのみやけ</small></p> <p><small>たけちのみこ</small></p>	<p>寒さに震える一行が、朝明評の迹太川まで来ると、雲間から陽が射してきたのでしよう。大海人は、太陽神でもある天照大神に勝利を願うのでした。</p> <p><small>あまてらすおおみかみ</small></p> <p><small>このさかづきのひめみこ</small></p> <p>(女性ナレーション) 鷗野讚良皇女)</p> <p>すると、近江を脱出した大津皇子が駆けつけ、さらに美濃の兵三千が不破道を封鎖したとの良い知らせが届きます。次第に明るさがみえてきました。</p> <p><small>おおつのみこ</small></p> <p><small>ふわのみち</small></p>

<p>▲ 炎 など戦のイメージ</p> <p>■ 瀬田橋の戦い模型</p> <p>■ 現在の瀬田唐橋</p>	<p>○ スーパー 行軍図 不破</p> <p>■ 不破関跡</p> <p>■ 現在の野上行宮跡</p>	<p>▲ 鷗野讚良皇女 シルエット</p> <p>▲ 軍旗</p> <p>■ 壬申の乱の武人復元</p>
<p>N 16</p>	<p>N 15</p>	<p>N 14</p>
<p>戦況は一進一退を繰り返しました。 <small>せたのからはし</small> 勝利を決したのは瀬田橋の決戦でした。 大海人軍は大友軍を撃破し、一気に攻め込みました。大友軍は総崩れとなり、翌日、大友皇子は自害しています。</p>	<p>(男性ナレーション) 「必ず勝つ。」と確信していました。 夫が不破の前線近くに陣を敷くことで、さぞ兵たちの士気も揚がったことでしょう。</p>	<p>大海人軍は、吉野の宮から僅か三日で不破に到着しています。 その時、兵力はおよそ三万にまでに膨れ上がっていました。</p>

S #3 戦と終戦

約1分30秒／6分30秒

▲ 鷗野讚良皇女 シルエット

■ 飛鳥浄御原宮跡

ドローン映像

■ 飛鳥浄御原宮

エビノコ郭模型

▲ 天武天皇イメージ

■ 薬師寺天武天皇坐像

■ 飛鳥浄御原宮跡

模型全体

● 久留倍官衙遺跡とCG

(女性ナレーション 鷗野讚良皇女)

戦いに勝利した私たちは、来た道に戻

り飛鳥へ入ります。夫は翌年、飛鳥浄

あすかきよみはらのみや

御原宮で即位します。天武天皇です。

てんむてんのう

(男性ナレーション)

天武は、天皇を中心とする中央集権

国家を打ち立てました。

久留倍官衙遺跡。

ここは、古代日本の激動の歴史を見

てきたのでしよう。

久留倍官衙遺跡案内

2017.01.24

▶ タイトル

「朝明と聖武天皇の東国行幸」

▶ 制作時間＝約 5分00秒

〔凡例〕

- 撮影 動画
- ▲ イメージ撮影
- 既存の画像
- スーパー、図面

N＝男・女性ナレーション

S#1 行幸伊勢国

約2分30秒

○黒い画面にスーパー

久留倍官衙遺跡

●久留倍官衙遺跡

発掘調査

ドローン映像とCG

○CG映像にスーパー

↳朝明と

聖武天皇の東国行幸↳

■続日本紀

天平九年是年春条 疫瘡

◆聖武天皇像

■奈良盆地全景

■聖武天皇像

▲炎など戦のイメージ

○スーパー

朕、おもう所有るに縁りて、今月の末、しばらく関東に往かんとす。その時に非ずと雖も、事已むことあたはず。將軍これ知るとも、驚き怪しむべからず

○騎馬隊のイメージ

パラパラアニメ

■平城宮朱雀門

■平城宮大極殿

(男性ナレーション)

N1

久留倍官衙遺跡。

N2

平成十一年に見つかったこの遺跡は、

とつごきぎょうじょう

聖武天皇の東国行幸を支えた舞台の

一つでした。

N3

しょうむてんのう

ながやおう

聖武天皇の時代には、長屋王の変や、

多くの自然災害、また天然痘てんねんとうの蔓延に

より、奈良の都は死者で満ちあふれて

いました。

N4

聖武は七百四十年、九州で藤原広嗣ふじわらのひろつぐ

の乱が起こっているにもかかわらず、

東国への行幸に旅立ちました。それは、

多くの貴族や騎馬きば四百騎を伴う壮大

なものでした。

○スーパー 行幸ルート

■河口頓宮跡

白山町川口

N5

十月二十九日に平城京へいじょうきやうを出発し、十一

月二日には伊勢国、一志郡いちしぐんの河口頓宮かわぐちのかりみや

に至ります。

あまてらすおおみかみ

N6

翌日、天照大神を祀る伊勢神宮に使

者を遣わしています。この行幸の大き

な目的の一つだったのでしよう。

○スーパー 行幸ルート

■赤坂頓宮跡

N7

十四日には鈴鹿の赤坂頓宮あかさかのかりみやに入ります。

S#2 壬申の乱 追体験

▲持統天皇 シルエット

○スーパー 聖武と持統の系図

N8

(女性ナレーション 持統天皇)

ひまろ

聖武は私の曾孫にあたります。

夫、天武天皇と私の血筋をひく者を即位させる。

それは私の悲願でした…

N9

赤坂を出た聖武は朝明郡の狭残行宮さざのかりみや

に二泊します。赤坂から不破までは壬

申の乱で夫が辿った道と同じです。

この壮大な行幸はそれを追体験したものでしょう。

▲鷗野讚良皇女 シルエット

○大海人行軍図と

聖武行幸図の比較

▲大海人皇子のイメージ

■万葉集表紙

■大和がたたなずくイメージ

○スーパ―

大君の行幸のまにま我妹子が
手枕まかず月そ経にけ
る

る

■海が煌めくイメージ

御食つ国志摩の海女ならしま

熊野の小舟に乗りて沖辺漕ぐ

見ゆ

●久留倍官衙遺跡

CG 長大な建物

▲鷗野讚良皇女 シルエット

○スーパ― 行幸図

■美濃小倉山からの遠望

■現在の不破辺り

■薬師寺天武天皇坐像

(男性ナレーション)

万葉集には、この行幸で、朝明の行宮

かりみや

で詠まれたと考えられる歌四首が収め

られています。

おとおものやかもち

大伴家持は二首を詠んでいます。

みけつくに

あま

御食つ国志摩の海女ならし

くま

おふね

おきへ こぐみゆ

ま熊野の小舟に乗りて沖辺漕ぐ見ゆ

ここに久留倍で発掘された大きな建物

が、行幸に関係するとの指摘がありま

す。

(女性ナレーション 持統天皇)

夫天武は、不破に陣取り、先には進んで

いないので、聖武もここで追体験を終え

たのでしよう。わが夫の跡をたどり、時

そつそふ

を超えて曾祖父の偉大さを想ったこと

でしょう。

ふわのかりみや

聖武は十二月四日に、不破頓宮ですべ

ての騎兵を都へ返しています。

○行幸行程図

■恭仁京跡

ドローン

▲鷗野讚良皇女 シルエット

■東大寺 大仏

■奈良の情景

○スーパー

青丹よし 奈良の都は咲く花の

にほふがごとく今盛りなり

詠人 小野老

●天平文化イメージ

正倉院御物復元写真

■奈良の情景

●久留倍官衙遺跡

発掘風景

●久留倍官衙遺跡とCG

N 15

(男性ナレーション)

「ここからは遷都に臨む行幸に変わります。十五日、聖武は恭仁京くこのみやに都を遷うつし、東国行幸を終えました。

N 16

(女性ナレーション 持統天皇)

その後聖武は、再び奈良へと都を遷し念願の大仏を完成させます。
「あをによし 奈良の都は 咲く花の
にほふがごとく いま盛なり」

N 17

華やかな天平文化。私のひ孫はその舞台の中心にいたのです。

N 18

(男性ナレーション)

久留倍官衙遺跡。
大矢知で発見されたこの遺跡は天平文化の、その頂点に立つ人びとをつぶさに見てきたのでしょう

〔凡例〕

- 撮影 動画
- ▲イメージ撮影
- 既存の画像
- スーパー、図面

朝明と壬申の乱

S#	P	凡例	内容	備考
1	1	●	久留倍官衙遺跡 ドローンCG	
		○	スーパー 天皇系統図	
		▲	天智と大海人 イメージ映像	
		■	現在の吉野宮 宮滝遺跡	
		■	現在の吉野宮 宮滝遺跡 ドローン	
		■	吉野宮の模型	
		▲	天智崩御 イメージ映像	
		○	日本書紀 スーパー	虎翼
		■	現在の吉野宮 宮滝遺跡	
		■	吉野宮の模型	
2	2	▲	鷺野讚良皇女 シルエット	
		○	スーパー 大海人と鷺野系図	
		■	日本書紀	何ぞ黙して
		■	吉野宮の模型	
		■	現在の吉野宮 宮滝遺跡	
		▲	野道を足早に歩く武人の足元	
		■	美濃 小倉山から遠望	
		■	現在の不破関辺り	
		○	スーパー 行軍図	
		3	3	▲
▲	雲間から陽が射す			
■	日本書紀			於朝明郡迹太川邊望拜 天照大神
■	海蔵川の流れ			
●	伊勢神宮			
▲	鷺野讚良皇女 シルエット			
▲	赤い軍旗			
■	不破関跡および周辺			
○	スーパー 行軍図			
■	日本書紀			朝明郡
		●	久留倍官衙遺跡 ドローンCG	

		● 発掘の様子	
--	--	---------	--

S#	P		内容	備考
2	4	○	スーパー 行軍図	
		▲	軍旗	
		■	壬申の乱の武人復元	
		▲	鷺野讚良皇女 シルエット	
		○	スーパー 行軍図	
		■	現在の不破関跡	
		■	現在の野上行宮跡	
		▲	炎 など戦のイメージ	
		■	瀬田橋の戦い模型	
		■	現在の瀬田唐橋	
		●	(箸墓の戦い模型写真)	
3	5	▲	鷺野讚良皇女 シルエット	
		■	飛鳥浄御原宮跡 ドローン	
		■	飛鳥浄御原宮 エビノコ郭模型	
		▲	天武天皇像 イメージ	
		■	薬師寺天武天皇坐像	
		■	飛鳥浄御原宮跡 模型全体	
		●	久留倍官衙遺跡 ドローンCG	

朝明と聖武天皇の東国行幸

S#	P		内容	撮影場所
1	1	●	久留倍官衙遺跡 ドローンCG	
		■	続日本紀版本	天平九年是年春条 疫瘡
		■	聖武天皇像	
		■	奈良盆地全景	
		■	聖武天皇像	
		▲	炎など戦のイメージ	
		○	スーパー 続日本紀	朕、おもう所・・・
		○	騎馬隊のイメージ パラパラアニメ	
		■	平城宮朱雀門	
		■	平城宮大極殿	
	2	○	スーパー 行幸ルート	
		■	河口頓宮跡	白山町川口

		● 伊勢神宮	
		■ 赤坂頓宮跡	亀山市関町
2	3	▲ 持統天皇 シルエット	
		○ スーパー 聖武と持統の系図	
		▲ 持統天皇 シルエット	
		○ スーパー 大海人行軍図と聖武行幸図の比較	
		▲ 大海人皇子のイメージ	
		● (平城天平祭り 御輿の行列)	
	4	■ 万葉集表紙	
		▲ 大和がたたなづくイメージ	
		○ スーパー 万葉集	大君の行幸のまにま...
		▲ 海が煌めくイメージ	
		○ スーパー 万葉集	御食つ国...
		● 久留倍官衙遺跡 長大な建物CG	
	5	▲ 持統天皇 シルエット	
		○ スーパー 行幸図	
		■ 美濃小倉山からの遠望	
		■ 現在の不破辺り	
		■ 薬師寺天武天皇坐像	奈良薬師寺
		■ 不破関模型	

S#	P	内容	備考
	6	■ 恭仁京跡 ドローン	山城国分寺跡
		▲ 持統天皇 シルエット	
		■ 東大寺 大仏	
		■ 東大寺 大仏殿	
		■ 奈良の情景	
		○ スーパー	青丹よし 奈良の都は
		● 天平文化イメージ	正倉院御物復元写真
			螺鈿箱
			琵琶袋
			双六局
		■ 平城宮大極殿	
		● 久留倍官衙遺跡 発掘調査風景	
		● 久留倍官衙遺跡CG	

説明板内容案

説明板の内容（四角囲いの中）
説明板：各遺構は説明板（小）を使用

長さ・面積は小数点
第2位を四捨五入

I 期 脇殿 （説明板 3/8）

北脇殿 東西8間×南北2間
東西 17.2m×南北 4.1m、平面積 71.1 m²(畳 43 枚分)

南脇殿 東西8間×南北2間
東西 17.8m×南北 3.9m、平面積 68.4 m²(畳 42 枚分)

郡衙政庁の正殿の左右にある、正殿と棟方向が直交する建物です。政庁の中で、正殿に次いで重要な建物で、大領（郡の役所の長官）の配下の役人が、事務などを行っていました。政庁の建物は、いずれも建て替えはありませんでした。

〈脇殿の位置〉 〈想定復元図〉

見学の助けになるような写真や
図などの情報を適宜入れます。

第6回委員会で、岡田委員より、説明板の枚数がわからず見落とすかもしれないので、対応してもらいたいとのご意見があったので、全ての枚数がわかるようにする。

説明板の内容は、現地で遺構を見る助けとなるよう、規模、用途、立地などについて記載することを検討しております。

小学校6年生以上で学ぶ漢字及び難しい学術用語にはルビをつけます。

名称板：30×20 cm

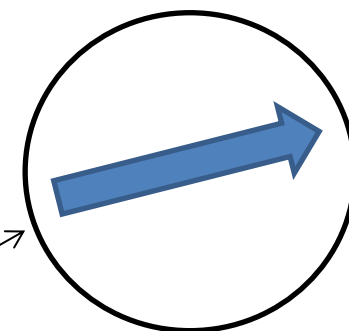
整備する遺構に埋め込み

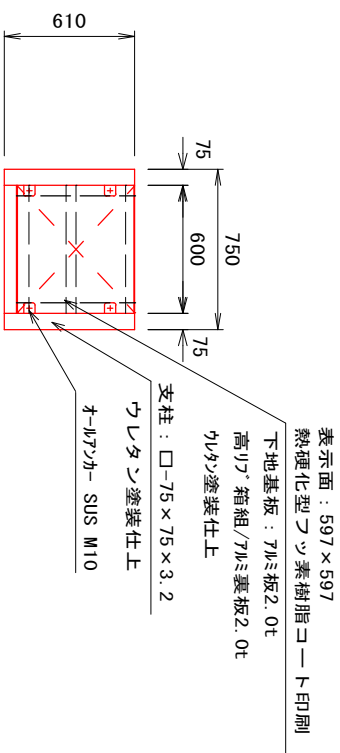
時期・名称・規模・方位板を表示

I期 北脇殿

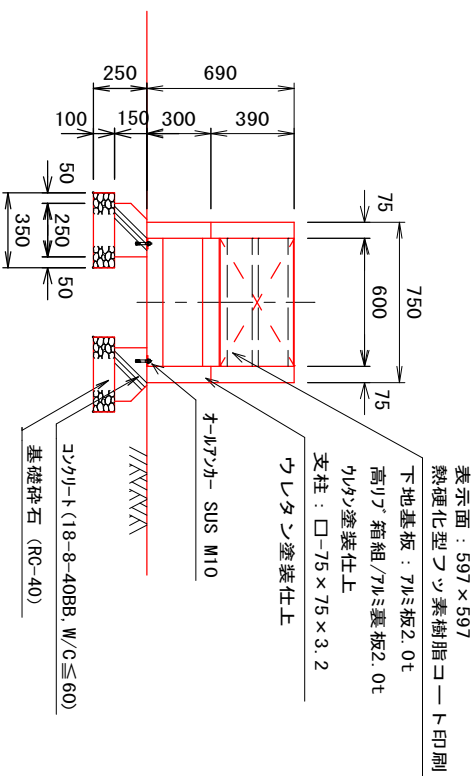
71.2 × 4.1 m

方位板

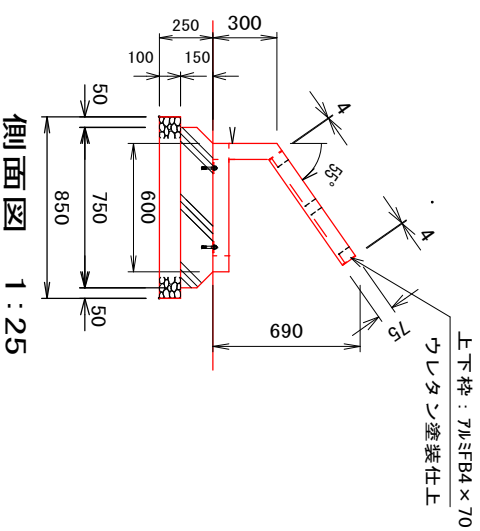




平面図 1:25



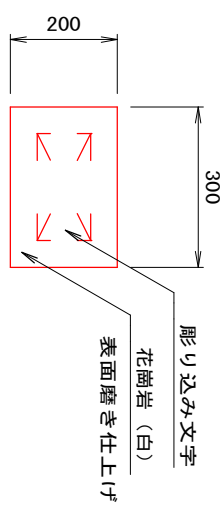
断面詳細図 1:25



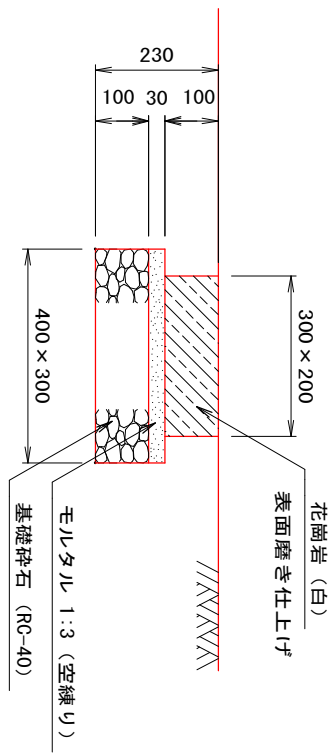
側面図 1:25

仕様書

- ・本製品の設計基準は『道路標識設置基準・同解説(社) 日本道路協会』とする。
- ・本製品のフレーム部は、鋼材とする。
- ・本製品の組立ボルトは、ステンレス製とする。
- ・本製品の鋼材の塗装色については、監督員との協議の上、決定する。
- ・本製品の鋼材は、溶融亜鉛メッキ後、ウレタツ塗装仕上げとする。
- ・本製品の表示面はアルミ製とし、印刷面は超耐候性インクジェット印刷後、熱硬化型ツツ素系特殊トフコートを行った製品とする。
- ・表示内容は、監督員との協議の上、決定する。
- ・本製品は(社) 日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険加入製品とする。



平面図 1:10



断面詳細図 1:10

仕様

・ 彫り込み文字の内容は、監督員との協議の上、決定する。

説明板配置図



工事区分	工種	区号	類別	規格・寸法	数量	単位	備考
管理用設置物工事	説明板設置	1	説明板(小)	説明板(小)-1	1200×1200	75.0	個
				説明板(小)-2	1200×900	75.0	個
				説明板(小)-3	1050×1100	75.0	個
				説明板(小)-4	1200×1120	1.0	基
				説明板(中)-1	4120×11400 木付 樹脂板	34.0	個
				説明板(中)-2	4120×11400 木付 樹脂板	34.0	個
				説明板(中)-3	4120×11400 木付 樹脂板	34.0	個
				説明板(中)-4	4120×11400 木付 樹脂板	34.0	個
				説明板(小) (区別)	4120×11400 木付 樹脂板	4.0	個
				説明板(小) (区別)	4120×11400 木付 樹脂板	78.0	個
水防設備工事	水防設備	1	水防設備	水防設備	H=170	1.0	基
				水防設備	H=170	8.0	基
				水防設備	H=170	2.0	基
				水防設備	H=170	2.0	基
				水防設備	H=170	10.0	基
				水防設備	H=170	2.0	基
				水防設備	H=170	2.0	基
				水防設備	H=170	2.0	基
				水防設備	H=170	2.0	基
				水防設備	H=170	2.0	基

工事名	2号地区管渠整備工事
工事箇所	2号地区管渠整備工事
図面の種類	説明板配置図
縮尺	1/1,000
縮尺	1/1,000
縮尺	1/1,000

I 期 正殿

(説明板 1/8)

南北5間×東西3間の身舎の東面に廂

南北 11.3m×東西 7.4m、平面積 83.3 m² (畳 51 枚分)

郡の役所の中心施設である郡衙政庁のもっとも重要な建物です。正殿の前は、多くの人が集まって儀式や宴会を行うための広場になっていました。

この建物は、発掘調査でみつかった正殿の真上に、現代の素材・工法で古代風の建物を建て、正殿の位置を示したものです。

<遺構写真>

<想定復元図>



I 期 八脚門（政庁東門）・塀

（説明板 2/8）

南北3間×東西2間

南北 6.8m×東西 4.3m 平面積 29.2 m²（畳 18 枚分）

八脚門は、久留倍官衙遺跡の郡衙政庁の門です。一般的な役所では正面は南を向きますが、久留倍官衙遺跡の場合は正面が東を向きます。

久留倍官衙遺跡の郡衙政庁は、塀で囲まれていました。ここでは、門の両側数間の塀だけを復元していますが、実際には脇殿や正殿まで塀がつながっており、郡衙政庁と付属施設とを区別していました。

この門と塀は、地下や目につかない部分は、安全のため現代の技術で補強していますが、外観は、専門家が当時の姿を復元したもので、木材を使い、当時の工法で建設しています。

〈八脚門の形式の説明〉

〈補強の様子〉

I 期 脇殿

(説明板 3/8)

北脇殿 東西8間×南北2間

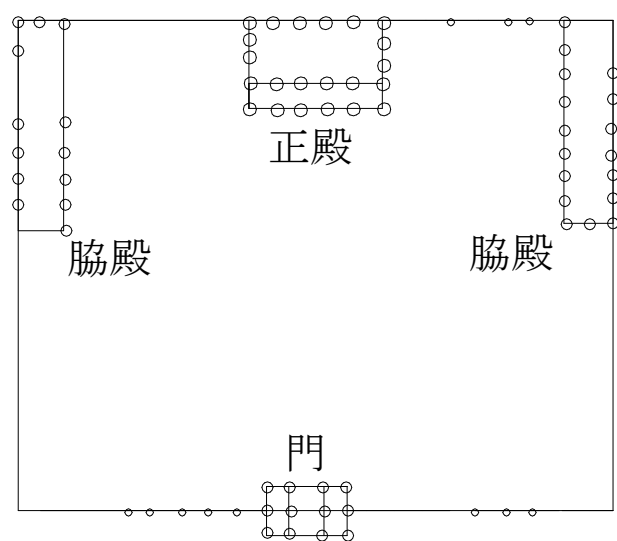
東西 17.2m×北 4.1m、平面積 71.1 m²(畳 43 枚分)

南脇殿 東西8間×南北2間

東西 17.8m×南北 3.9m、平面積 68.4 m²(畳 42 枚分)

郡衙政庁の正殿の左右にある、正殿と棟方向が直交する建物です。郡衙政庁の中で、正殿に次いで重要な建物で、大領（郡の役所の長官）の配下の役人が、事務などを行っていました。政庁の建物は、いずれも建て替えはありません。

〈脇殿の位置〉



〈想定復元図〉

I期 倉庫

(説明板 4/8)

北側 南北4間×東西3間

東西南北 8.9m×7.6m、平面積 67.0 m² (畳 40 枚分)

南側 南北4間×東西3間

南北 9.5m×東西 8.0m、平面積 75.7 m² (畳 46 枚分)

郡衙政庁に付属していた大型の倉庫です。Ⅲ期の正倉院の倉庫よりも平面積が大きい倉庫が2棟、郡衙政庁の後ろに並んでいました。

この中に納められていたものは、穀物、文書、武器などが考えられます。

<発掘調査の様子>



Ⅱ期 長大な建物1 (SB437)

(説明板 5/8)

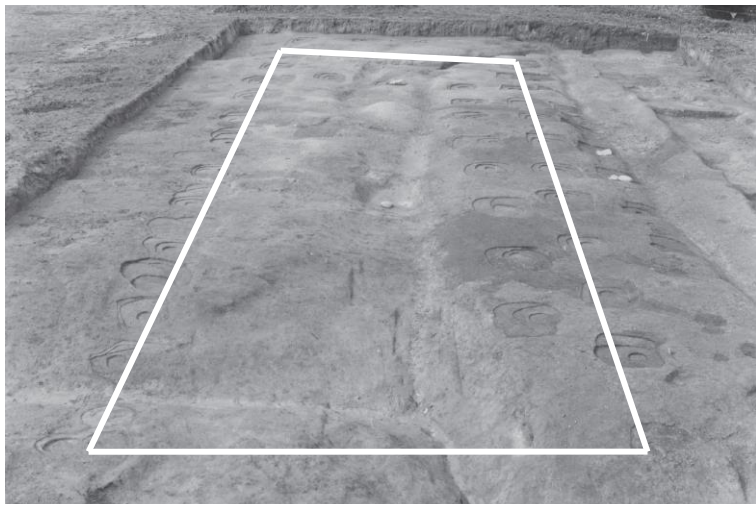
東西 14 間×南北 3 間

東西 29.4m×南北 6.9m、平面積 202.9 m² (畳 125 枚分)

久留倍官衙遺跡にある建物の中で一番面積が広く、柱を立てるために掘られた穴が大きい建物です。同じ大きさを1回建て替えられました。

この建物が建てられたときには、Ⅰ期の郡衙政庁はなくなっており、建物の南側は広場になっていました。広場は儀式や宴会で使われたと考えられます。

<発掘調査の様子>



<想定復元図>

遺構番号は表示

しません

Ⅱ期 長大な建物2 (SB439)

(説明板 6/8)

東西 14 間×南北 3 間

東西 30m×南北 6.8m、面積 202.5 m² (畳 125 枚分)

長大な建物 1 に遅れて建てられた、長大な建物 1 とほぼ同じ面積で、一段下がった位置に建てられた長大な建物です。柱は抜き取られており、建て替えはありませんでした。

<発掘調査の様子>



遺構検出状況

地形状況

遺構番号は表示
しません

Ⅲ期 正倉院

(説明板 7/8)

東西3間×南北3間、東西3間×南北4間

19.3~49.1 m² (畳 11~30 枚分)

税として集めた稲などが納められていた床のある倉庫で、同じような規模の倉庫が、整然と並んでいました。倉庫のほとんどは、1~2回同じ位置で建て替えられていました。

正倉院の場所は、今は東下がりの傾斜地ですが、当時は階段状になっていたと考えています。

<発掘調査の様子>



Ⅲ期 正倉院堀

(説明板 8/8)

東西約 70m×南北約 100m

正倉院の倉庫群を囲んでいる溝です。何か所か溝が切れているところは陸橋になっており、出入口であったと考えられます。

「倉庫令」という当時の法律によると、正倉院は高く乾燥している場所に設置し、防火のため周囲に堀を掘ることになっており、久留倍官衙遺跡の状況は、この法律によく合致しています。東側の堀には、水を溜めていたようです。

<発掘調査の様子>

